

青山民謡酒場 vol.1 -青森編-

つるとかめプロデュース

2010 年 5 月 17 日(月)~21 日(金)

EATS and MEETS Cay(スパイラル B1F)



心揺さぶる音楽の＜原点＞へー。

良質な音楽を提案する Cay が贈る、
新たな“民謡”の世界。

EATS and MEETS Cay では、5 月 17 日(月)~21 日(金)の 5 日間に渡って、青森の民謡と食事を楽しむ「青山民謡酒場 vol.1 -青森編-」を行います。

古く昔から自然に発生し、人から人へ伝承されてきた決して消えることのない“民謡”を、
地元の食とともに青山で楽しむ。

誰にもいくつかの深く思い出に残る曲がある民謡。その多くは暮らしの様々なシーンで生活感情をうたい、決して消えることのない、変わらぬ力強さと豊かさを持っています。

そしていま、生活の中の“ぬくもり”が注目されるなか、民謡に新たな眼差しが向けられ、現代のミュージシャンの間で注目を集めてきています。そこでジャンルを横断して常に上質な音楽を提供してきた EATS and MEETS Cay は地域に根付いたソウルフルな音楽を、食とともに提案する「青山民謡酒場」をスタートします。第 1 回目となる「青森編」には多ジャンルから豪華ゲストが参加。津軽三味線の第一人者澤田勝秋と、細野晴臣や宇崎竜童など数々のアーティストとコラボレーションを行い民謡界屈指の視野を持つ木津茂理によるユニット「つるとかめ」、パーカッショニスト、ドラマー、プロデューサーとして絶大な人気を誇る ASA-CHANG やジャズを軸に様々なジャンルのミュージシャンとグループを結成して音楽シーンの最前線を目指す坂田明など、ここでしか見られない顔ぶれです。また、会期中は青森の郷土料理「じゃっば汁」や「青森おでん」、地酒



つるとかめ
(右:澤田勝秋、左:木津茂理)



ASA-CHANG



GoCooLaCoo



坂田明

などの期間限定メニューも登場。津軽地方特有の刺し子「こぎん刺し」の展示もあわせ、素朴な民謡の世界を固有の地域文化と存分に味わっていただけます。

民謡界の大御所による正統派民謡からロック、ジャズ・ミュージシャンによる新解釈の演奏まで、日本魂を蘇らせる「青山民謡酒場」。

今回は 8 月下旬に北海道、沖縄の民謡をご紹介します「青山民謡酒場 vol.2 北海道、沖縄編(仮題)」を開催予定。ぜひこの機会に本イベントのご取材をご検討いただけますようお願いいたします。

掲載や取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル/株式会社ワコールアートセンター 広報部 担当 四元朝子(よつもとともこ)、加藤美穂、清水さえみ
〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848
E-mail press@spiral.co.jp WEB www.spiral.co.jp

開催概要**青山民謡酒場 vol.1 -青森編-**

日時:2010年5月17日(月)~21日(金) 開場 18:00 開演 1st ステージ 20:00、2nd ステージ 21:30

会場:EATS and MEETS Cay(スパイラル B1F)

東京都港区南青山 5-6-23 スパイラル B1F Tel.03-3498-5790

料金:入場料 ¥2,500 ※自由席または立見。

※席に限りがございます。相席の場合がございますので予めご了承ください。

チケットの取扱い:ローソンチケット <http://l-tike.com/> (web、ローソン店頭のみで取扱)

EATS and MEETS Cay Tel. 03-3498-5790

出演者/Lコード:

5月17日(月) 高橋キヨ子+高橋祐次郎+つるとかめ (Lコード78431)

5月18日(火) つるとかめ+スペシャルゲスト (Lコード78436)

5月19日(水) Soothe+GoCooLaCoo (Lコード78444)

5月20日(木) 坂田明+ASA-CHANG+つるとかめ (Lコード78445)

5月21日(金) 原田直之+高橋祐次郎+つるとかめ (Lコード78476)

他、澤田勝秋社中 澤田勝成・勝春 木津茂理社中 and スペシャルゲストも出演します。

協力:細川太紀、葛西俊介

協賛:ストウ酒商、おきな屋、ICE “ICE” Baby (カーリング Team Aomori 公式ブランド)

企画制作:つるとかめ、EATS and MEETS Cay

共催:つるとかめ、EATS and MEETS Cay

関連企画**◆「青山民謡酒場 vol.1 -青森編-」期間限定メニュー◆**

身体の芯まで暖まる青森の郷土料理と日本酒で、心ゆくまで民謡の世界をご堪能ください。

- ・青森の郷土料理「じゃっば汁」
- ・生姜の利いた味噌だれでいただく「青森おでん」
- ・青森の地酒「縄文名水(日本酒)」

◆「津軽地方伝統の刺し子『こぎん刺し』」の展示◆

日本三大刺し子の「こぎん刺し」。素朴ながらも豊かな手技の世界をご紹介します。

蒲田久子

青森県生まれ。1957年より工藤得子氏に師事。津軽こぎん刺しの伝統を守りながらも、新しい技術への挑戦として絵画的な作品制作も試みる。講座での指導を通じて、津軽こぎん刺しの普及と後進の育成に尽力している。教室は「越前屋手芸教室」(東京都中央区京橋 1-1-6 越前屋ビル 8F Tel. 03-3281-4911)

出演者プロフィール**つるとかめ**

津軽三味線第一人者、澤田勝秋と民謡界屈指の視野を持つ木津茂理の絶妙なコンビネーションで繰り上げられる従来の民謡とは一味も二味も違う民謡の世界を提案。1999 年にサクソ奏者、坂田明氏と共に行ったライブで産声を上げる。その後のコンサート、ライブ活動を経て「弾きながら歌う、叩きながら歌う」というスタイルを確立。少し前に先人達が表現した自由に歌う精神を現代に復活させるというユニットコンセプトをまとめ、全国の民謡を意外な流れで紹介する。

原田直之

1942 年福島県相馬地方に生まれ育ち、1961 年に吾妻桃也の門を叩いて内弟子となり民謡修行の第一歩を踏み出して以降、数々の賞を受賞し民謡界のトップ歌手となる。また、国内に留まらず海外でもチャリティーイベントを多数開催するなど幅の広い活動を展開する。2008 年には(財)日本民謡協会より「民謡名人位」を受賞し、2009 年には社団法人日本歌手協会副会長に就任。

高橋祐次郎

平成最後の旅芸人経験者。秋田県角館出身で1955年に上京。上京後浅草国際劇場にて出会った三橋美智也のショーに感激して民謡の世界に入り、その後は数多くの客演をこなす。1987 年には津軽三味線合奏団を結成。団の名前も高橋祐次郎 & KAZE として、国内各地、海外にて公演。また、民謡界でも演奏者として TV、ラジオ、レコード他大活躍し現在に至る。角館親善大使としても地域活性など多方面に取り組み、幅広い活動を行う。

高橋キヨ子

8 歳から民謡を習い始め、15 歳の時には「秋田おぼんこ甚句」でデビュー。クラウンでは民謡・オリジナル歌謡曲を中心に 300 曲以上をレコーディング。そのやわらかで艶のある華やかな歌声は民謡界でも異彩を放つ。女性民謡歌手のトップとしてテレビ・ラジオ・舞台など多方面で活躍。現在、有線放送の番組「高橋キヨ子の民謡一番！」のパーソナリティーをつとめ、楽しいトークとともに民謡の魅力を紹介している。

浅野優子

神奈川県川崎市生まれ。母の影響で4歳から民謡を習い始め、5歳の頃初舞台を体験する。その後、秋田民謡の大家浅野梅若氏の内弟子入門。唄、太鼓、手踊り、三味線、司会を習得し活動の範囲を広げ、1997 年には日本民謡・梅若流大師範の免状を取得。翌年にはNHK邦楽オーディションに合格し、日本郷土民謡協会全国大会 昭和ジュニア部門で優勝する。2003 年浅野優子後援会「優和会」発足。現在はEMIミュージックに所属し、テレビ、ラジオや各地のアトラクション、演奏会で活躍中。

坂田明

1945 年広島県呉市出身。1969 年、東京でグループ『細胞分裂』を結成。1972 年、山下洋輔トリオに参加。1979 年末まで在籍する。1980 年、自己のトリオを結成。以来、様々なグループの結成、解体を繰り返しながら音楽シーンの最前線を目指す。現在のレギュラーユニットは2009年に新結成した『坂田明トリオ』。同時に、内外のミュージシャンとの交流も活発で、2005 年春には、ジム・オルークとの共同プロジェクトをスタート、『およばれ』(2005 年)、『かなしい』(2006 年)、『ズボンで』(2007 年)、『ハ行』(2008 年)を発表し、2009 年の春と秋にはダーリン・グレイ、クリス・コルサーノとのトリオでヨーロッパとアメリカで公演を行った。

ASA-CHANG

1989 年東京スカパラダイスオーケストラのパーカッション兼バンドマスターとしてデビュー。1993 年に自ら創設した東京スカパラダイスオーケストラを脱退。フリーランスに。独立後の数々のセッションワークにより、ドラマー、パーカッショニストとしてその存在を知られるようになる。ラテンパーカッション系だけではなくインド、アジア系、玩具、ガラクタ、シンセ音などをちりばめた独自の演奏方法を確立し、数多くのミュージシャンから信頼を得ている。ポップとアバンギャルドを軽々と行き来する活動は多くの注目を集める一方、作曲、アレンジ、プロデューサーとしても活動。

GoCooLaCoo

和太鼓バンド GOCOO の TAROW、HIDE、NOGZA、TAKEMA 男 4 人によるスペシャルユニット。あるときは 4 人で、あるときは GOCOO がプロデュースする TAWOO の男メンバーを加え、変幻自在に姿を変えてひと味違う GOCOO サウンドを追及。力強く、骨太なグルーブ、研ぎ澄まされたリズム、地鳴りの如く轟きわたる重低音、男魂が咆哮をあげ、いにしえの祭りへとリンクする極楽空間を生み出している。

Soohte

津軽三味線、和太鼓、ギター、ベース、ドラムを融合させ、独自の音楽と雰囲気を生み出す。ジャンルにとらわれることなく様々な音を取り入れ、多くのアーティストと共演、JAM セッションも精力的に行う。LIVE 活動のほか、ファッションショーでの演奏、舞台、映像、Website への楽曲提供など幅広い活動を展開している。